

Case Study:ハイテク機器 変化対応を重視したSCM事例

事業環境と問題点

スマートフォン・タブレット端末の普及により、商品点数の急激な増加、BtoBビジネスの拡大が見込まれ、納期回答精度や変化対応力強化が必須となり、販売から生産をつなぐSCM改革が必要となりました。

スマホ普及・ビジネス拡大

販社状況がBlack Box、製品在庫増

ファブレス化による柔軟性低下

製品発注から出荷までのリードタイムが長い

販社・EMSを巻き込んだSCM改革

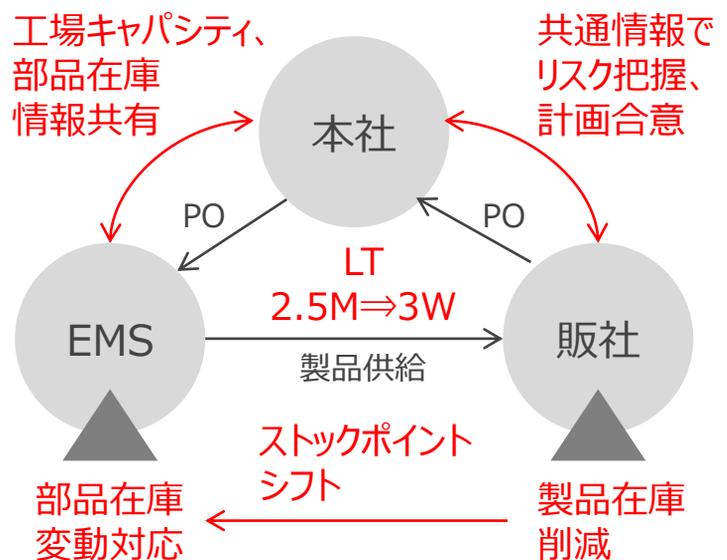
改革の概要

狙い

- リードタイム(LT)短縮
- 製品在庫削減
- 需要変動対応力強化
- 情報可視化

主要施策

- EMS PSI情報連携
- 需給調整シミュレーション
- 計画プロセス週次化
- スtockポイント見直し
- 高速計画基盤構築



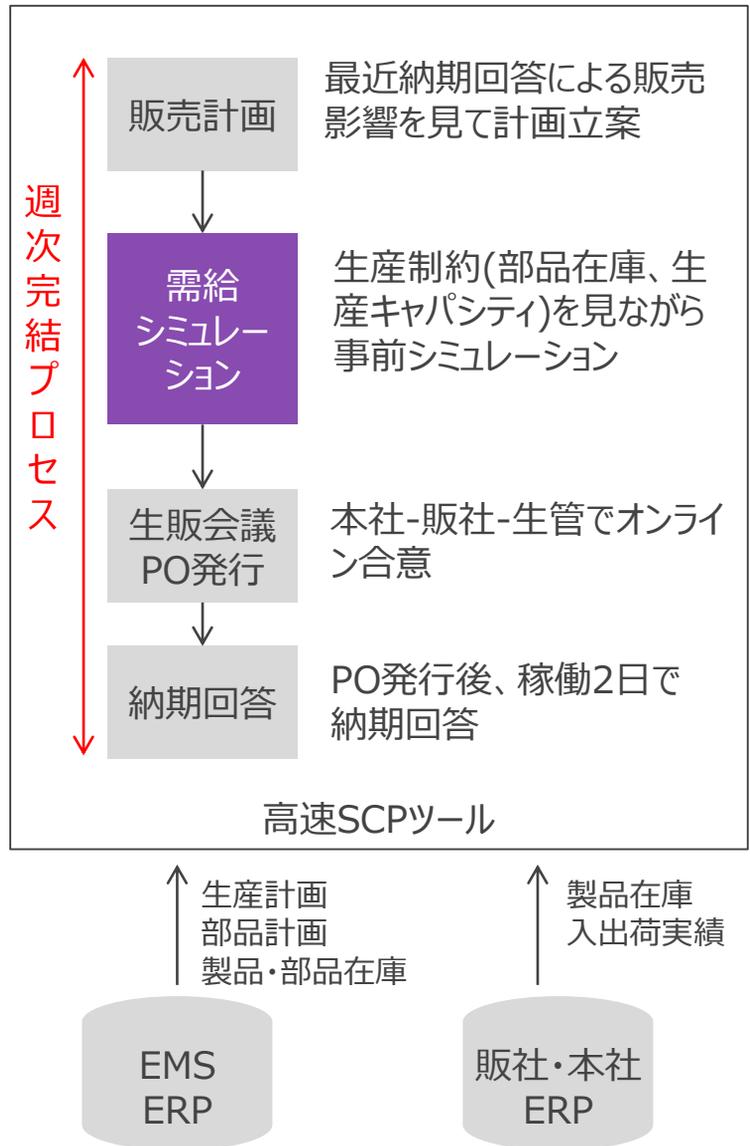
* PSI : Production/Purchase (生産/仕入), Sales(販売), Inventory(在庫)
 * PO(purchase order) : 商品名や出荷条件などの販売条件を記載した発注書

需給シミュレーションによるLT短縮、在庫削減

グローバルの各販社に加え、EMSからも在庫、入出荷実績等のサプライチェーン情報を収集、同一基盤での計画立案を可能にしています。

販社の販売計画立案からEMSの納期回答までをそれまでの月次サイクルから週次サイクルに短縮しています。

キー部品在庫と生産キャパシティを考慮した需給シミュレーションを本社で実施することで製品発注LTを2.5カ月から3週間に短縮、製品在庫の削減を実現しています。



* SCP : Supply Chain Planning

Why QUNIE ?

8カ月での新SCMの実現を目指されていた為、方法論に加え、EMSに関する業務知見や実務感覚、最新の高速SCPツールに関する成功体験が評価されました。

株式会社 QUNIE

〒100-8101 東京都千代田区大手町2-3-2 大手町プレイス イーストタワー11F
 TEL: 03(3517)2292 FAX: 03(3517)2293
 Email: info@qunie.com http://www.qunie.com

Trusted Global Innovator
 NTT DATA Group

NTT DATA